

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2005-152436 (P2005-152436A)  
 【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-023  
 【出願番号】特願 2003-397654 (P2003-397654)  
 【国際特許分類】

**A 6 3 F 5/04 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

A 6 3 F 5/04 5 1 2 R

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 27 日 (2006.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体を仮想遊技媒体として記憶管理する仮想記憶機能を有し、  
 絵柄を可変表示する可変表示手段と、  
 記憶管理された遊技媒体から所定数の遊技媒体を投入するための入力手段と、  
 前記可変表示手段を始動させる始動操作手段と  
 を備えた遊技機であって、  
 前記入力手段及び前記始動操作手段を、遊技者による片手を使った一回の動作で操作可能に構成した遊技機。

【請求項 2】

遊技媒体を仮想遊技媒体として記憶管理する仮想記憶機能を有し、  
絵柄を可変表示する可変表示手段と、  
記憶管理された遊技媒体から所定数の遊技媒体を投入するための入力手段と、  
前記可変表示手段を始動させる始動操作手段と  
を備えた遊技機であって、  
前記入力手段及び前記始動操作手段を、遊技者による同一方向への片手を使った一回の動作により、入力手段、始動操作手段の順で連続して操作されるように構成した遊技機。

【請求項 3】

前記入力手段及び前記始動操作手段の操作方向を同一とし、両手段をその操作方向に沿って並設した請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記入力手段及び前記始動操作手段を互いに近接した位置に設けた請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記操作方向を上下方向とした請求項 3 又は 4 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記入力手段及び前記始動操作手段を遊技機前面より手前側に延びるようにして設けると共に、前記入力手段の手前側先端部を前記始動操作手段の手前側先端部よりも後退させた請求項 1 乃至 5 のいずれかに遊技機。

## 【請求項 7】

遊技媒体を仮想遊技媒体として記憶管理する仮想記憶機能を有する遊技機において、  
遊技機本体内に、複数列から構成され各列ごとに複数の絵柄が表示された可変表示手段  
を収容し、遊技機本体の前面側には、可変表示手段を透視する窓の形成された遊技パネル  
を有する前面扉を設け、同前面扉の前記遊技パネル下側には、所定方向に操作することで  
可変表示手段を始動させるスタートレバーを設け、

記憶管理された遊技媒体から所定数の遊技媒体を投入するためのベットレバーを前記ス  
タートレバーに対するカバー形状に形成して、そのスタートレバーに前記所定方向から被  
せるようにして設けた遊技機。

## 【請求項 8】

前記スタートレバーの先端部には球体を設け、前記ベットレバーの先端部を前記球体の  
外形の略半分を覆うような略半球形状に形成した請求項 7 に記載の遊技機。